

令和5年度飛騨市ひとり親家庭WEBアンケート調査結果

飛騨市子育て応援課

1 調査目的

市ではひとり親家庭対策は子どもの貧困対策と密接に関連しており社会全体で取り組むべき課題であるとの認識に立ち、ひとり親家庭が自主的に自らの力を発揮していきいきと生活し、安心して子育てや仕事ができる社会づくりを目指して各種施策を推進しています。

今回、市内のひとり親家庭の現状やニーズを把握し、今後のひとり親支援施策の展開に向けた基礎資料とするため調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象	児童扶養手当受給資格者 138人
調査方法	インターネット回答
調査期間	令和5年11月10日～11月30日
回収結果	40人（回答率 29.0%）
その他	構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。また、複数回答の構成比は回答者数を分母に算出しています。

3 結果概要

○ ここ一年の収入・支出の変化、親子で過ごす時間について

- ・ 収入について「あまり変わらない」が60%であったが、支出については、「増えた」が78%となっている。
- ・ 親子で過ごす時間について「あまり変わらない」が68%と高く、次いで「減った」が28%となっている。

○ 困りごとや悩みごとについて

- ・ 約半数の方が「生活費」、「教育費」、「仕事」の順で困りごとや悩みごとがあるが、「すでに相談している」を選択した方は1割も満たず、また、子育て応援課や地域生活安心支援センターへの相談を「希望しない」を選択している。

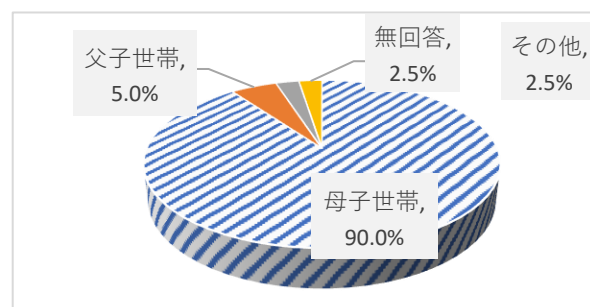
○ 望んでいるひとり親家庭支援策について

- ・ 「子どもの就学支援」（53%）が最も高く、次いで「子どもの学習支援」（38%）となっている。

4 調査結果

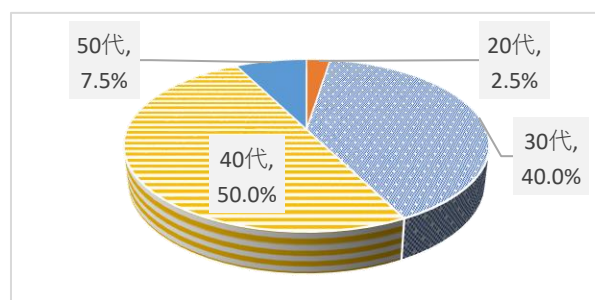
Q1-1 回答者ご本人の世帯別について

	人数	構成比
母子世帯	36	90.0%
父子世帯	2	5.0%
その他	1	2.5%
無回答	1	2.5%
計	40	100.0%



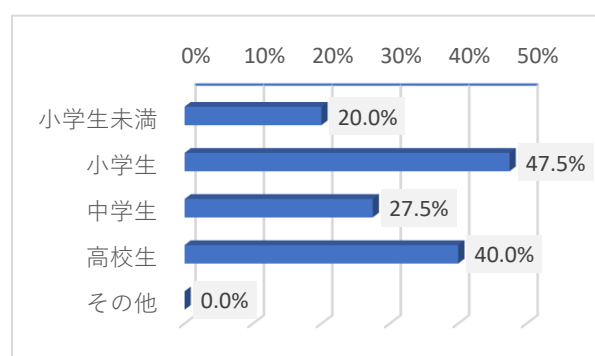
Q1-2 回答者ご本人の年齢について

	人数	構成比
10代	0	0.0%
20代	1	2.5%
30代	16	40.0%
40代	20	50.0%
50代	3	7.5%
60代	0	0.0%
60代以上	0	0.0%
計	40	100.0%



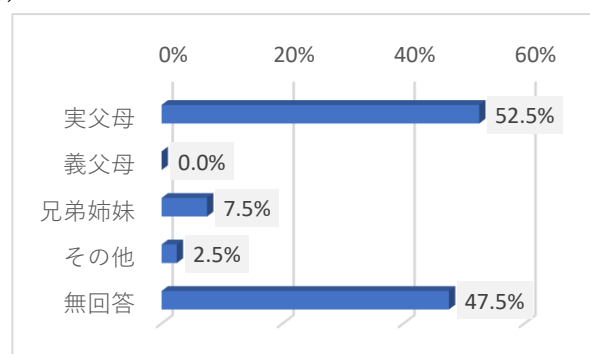
Q2-1 家族構成－子ども（複数回答）

	人数	構成比
小学生未満	8	20.0%
小学生	19	47.5%
中学生	11	27.5%
高校生	16	40.0%
その他	0	0.0%
計	54	135.0%



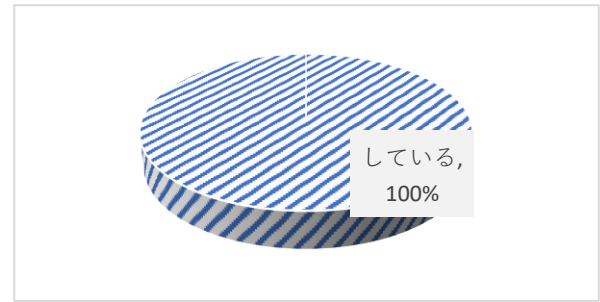
Q2-2 家族構成－同居の親・兄弟姉妹（複数回答）

	人数	構成比
実父母	21	52.5%
義父母	0	0.0%
兄弟姉妹	3	7.5%
その他	1	2.5%
無回答	19	47.5%
計	44	110.0%



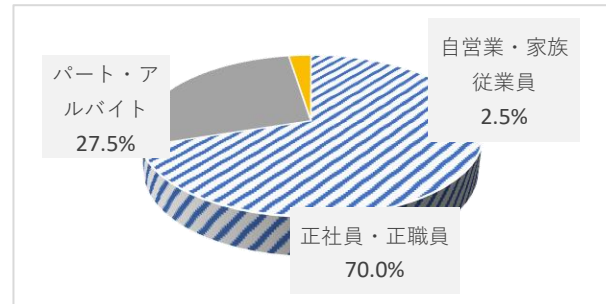
Q3 就労状況

	人数	構成比
している	40	100.0%
していない	0	0.0%
計	40	100.0%



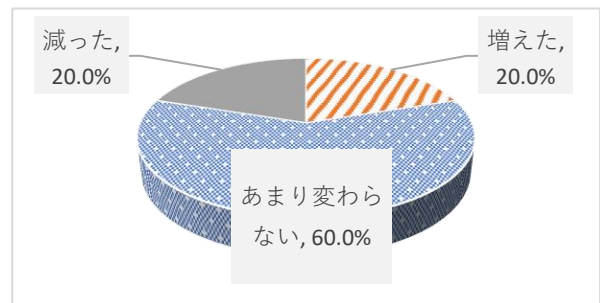
Q4 就労している方の就労形態

	人数	構成比
正社員・正職員	28	70.0%
派遣社員	0	0.0%
パート・アルバイト	11	27.5%
自営業・家族従業員	1	2.5%
計	40	100.0%



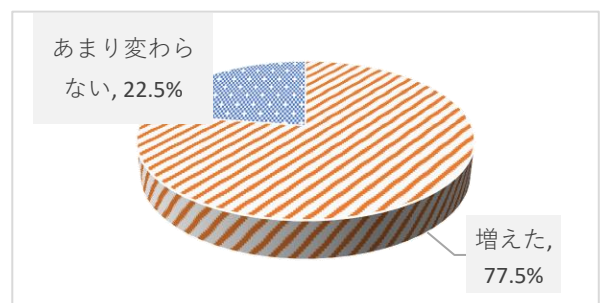
Q5 ここ1年の収入（就労収入のほか、養育費、各種手当等）の変化について

	人数	構成比
増えた	8	20.0%
あまり変わらない	24	60.0%
減った	8	20.0%
その他	0	0.0%
計	40	100.0%



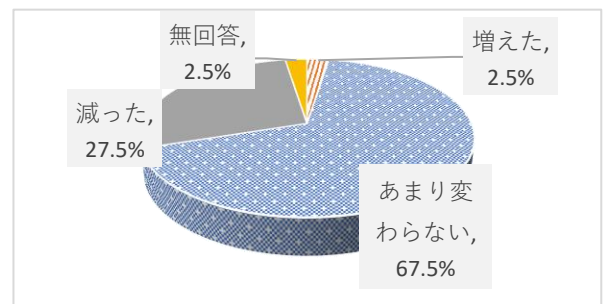
Q6 ここ1年の支出の変化について

	人数	構成比
増えた	31	77.5%
あまり変わらない	9	22.5%
減った	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	40	100.0%



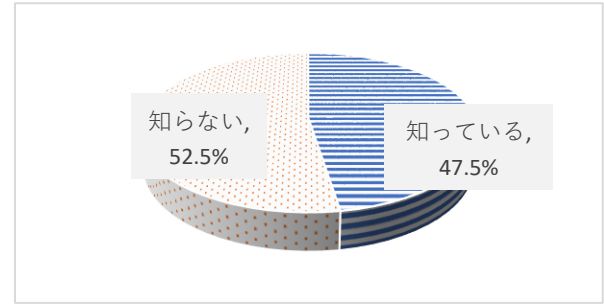
Q7 ここ1年の親子で過ごす時間について

	人数	構成比
増えた	1	2.5%
あまり変わらない	27	67.5%
減った	11	27.5%
無回答	1	2.5%
計	40	100.0%



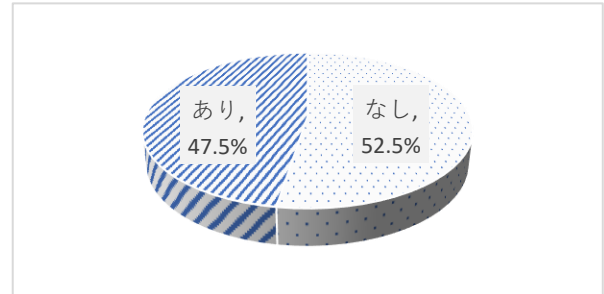
Q8 今年度から実施しているひとり親対象「おしゃべりサロン」を知っていますか

	人数	構成比
知っている	19	47.5%
知らない	21	52.5%
計	40	100.0%



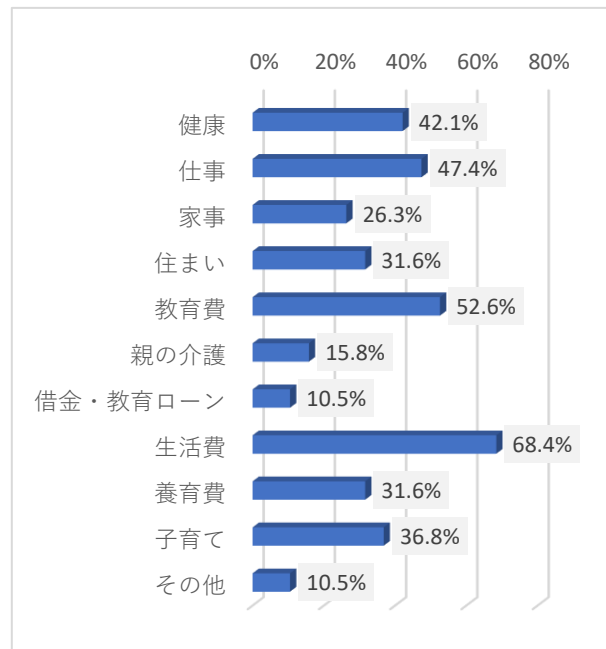
Q9 現在、困りごとや悩みごとはありますか。

	人数	構成比
なし	21	52.5%
あり	19	47.5%
計	40	100.0%



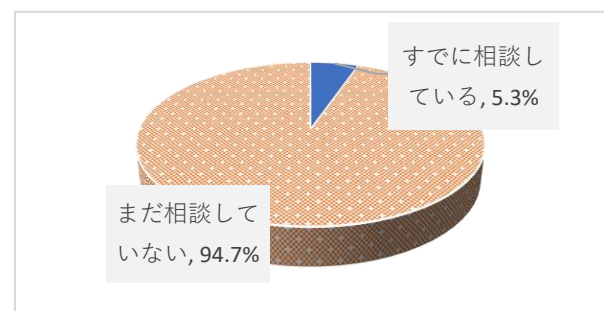
Q10 困りごと等ありを回答の方の、困りごと種類（複数回答）

	人数	構成比
健康	8	42.1%
仕事	9	47.4%
家事	5	26.3%
住まい	6	31.6%
教育費	10	52.6%
親の介護	3	15.8%
借金・教育ローン	2	10.5%
生活費	13	68.4%
養育費	6	31.6%
子育て	7	36.8%
その他	2	10.5%
計	71	373.6%



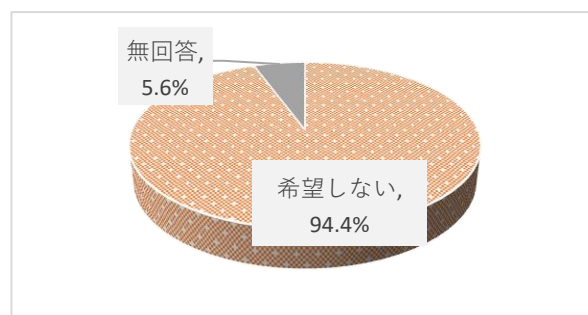
Q11 困りごと等ありを回答の方の、相談状況

	人数	構成比
すでに相談している	1	5.3%
まだ相談していない	18	94.7%
計	19	100.0%



Q13 困りごと等ありを回答し、まだ相談していない方で、子育て応援課や地域生活安心支援センターへの相談希望

	人数	構成比
希望しない	17	94.4%
希望する	0	0.0%
無回答	1	5.6%
計	18	100.0%



Q15 ひとり親家庭に対してどのような支援策があるとよいと思いますか。（複数回答）

	人数	構成比
気軽に相談できる場所や相談体制（SNS等）	10	25.0%
夜間・土日祝日の相談体制	5	12.5%
子育てに関する相談窓口	7	17.5%
就労に関する相談窓口	4	10.0%
当事者同士で相談できる場	4	10.0%
各種制度・サービスの広報の充実	13	32.5%
子どもの就学援助	21	52.5%
子どもの学習支援	15	37.5%
家事・子育て等ホームヘルパーの拡充	7	17.5%
正規雇用の就労機会の拡充	1	2.5%
職業訓練・受講料補助など経済支援	3	7.5%
職業訓練・技能講習など機会の充実（デジタル以外）	2	5.0%
デジタルスキルに特化した就労支援	3	7.5%
その他	4	10.0%
計	99	247.5%

「その他」の主なもの ・現金での生活援助

